

聖書ルカ 24 : 36 ~ 49

2019/10/20

「罪に打ち勝つ」

1. はじめに

- ・ 私たちは、十字架は印象深いのですが、よみがえりは十字架に比べたら印象深くない。
- ・ 24章全体はイエス様のよみがえりの記事です。ルカは三つに分けて復活を伝える。①は「からの墓」～12節まで。②イエスの顕現（エマオで。）～35節まで。今日の箇所③イエスの顕現、神の計画の説明、その時まで都にとどまれという命令。
- ・ 福音は完了し、聖霊の時代に入る。

2. 本文

- ・ 37節：彼らはおびえて震え上がり、幽霊を見ているのだと思った。
- ・ 41節：ここに何か食べ物がありますか。
- ・ 44節：「あなたがたに話したことはこうです。わたしについて、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてあることは、すべて成就しなければなりません。」

* 救い主が与えられるということ。

- ・ 24 : 27の注、44節の注
- ・ 46～49a節：神の計画
 - ・ ①46節：キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえる。
 - ・ ②47節：その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。
 - ・ ③48節：あなたがたは、これらのことの証人となります。
 - ・ ④49a節：見よ。わたしは、わたしの父が約束されたものをあなたがたに送ります。

* I コリント 15 : 35 ~ 49 「よみがえり」について

- ① アダムとイエスの違い。
- ② 新しい物を着せられる。
- ③ 信仰的な論理と人間的な論理、例えば「35節：死者はどのようにしてよみがえるのか。どのようなからだで来るのか。」
- ・ 49b節：あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。

* 弟子たちは信仰があっても力がない。都にとどまっていなさい。

3. まとめ

- ・ 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

ヨハネ 3 : 17

- ・ 使徒の働き 2章、4章の信じる者たちの交わり。
 - ・ ユニークな共同体：主にあって一つである。
 - ・ この共同体はいと高き所から与えられた。